

IV 貯蓄・負債現在高階級別の収支

1 二人以上の世帯の状況

消費支出は貯蓄現在高が多くなるほど多い

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に1世帯当たり1か月間の消費支出をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って消費支出も多くなっている。

費目別に消費支出に占める割合をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って教養娯楽及び「その他の消費支出」はおおむね高くなっているが、食料及び光熱・水道はおおむね低くなっている（図17、表15）。

図17 貯蓄現在高階級別消費支出及び費目別構成比（二人以上の世帯）－平成23年－

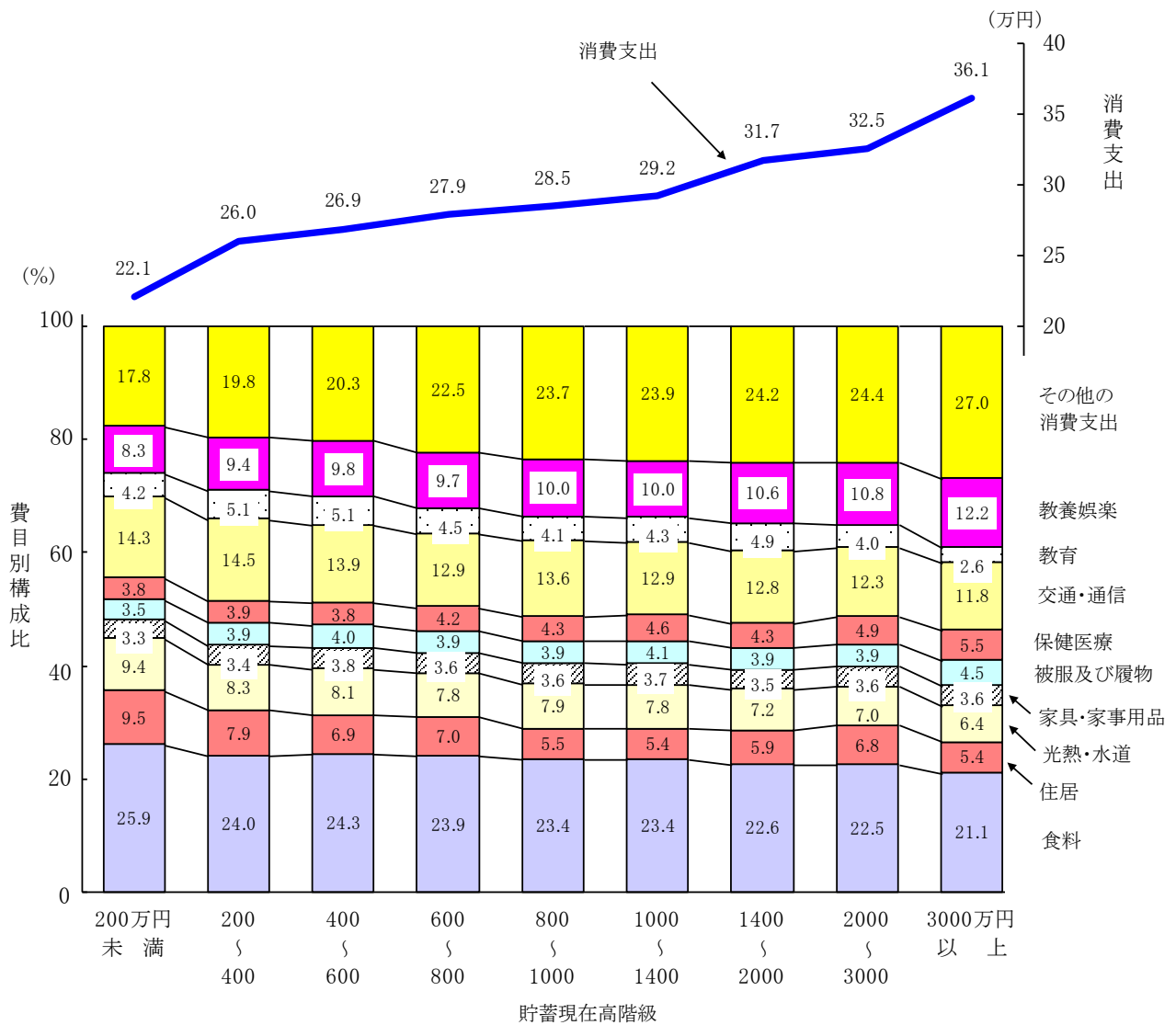


表15 貯蓄現在高階級別消費支出及び費目別構成比（二人以上の世帯）－平成23年－

項目	平均	200万円 未 満	200 万円以上 ～400 万円未満	400 ～600	600 ～800	800 ～1000	1000 ～1400	1400 ～2000	2000 ～3000	3000 万 円 以 上
世帯主の年齢(歳)	56.8	49.6	50.3	52.8	54.4	56.6	58.4	59.6	62.6	65.0
持家率(%)	78.9	56.9	70.2	75.4	77.3	81.0	87.2	88.7	88.1	93.1
有業人員(人)	1.33	1.44	1.45	1.41	1.41	1.32	1.32	1.31	1.24	1.16
						金 額 (円)				
消費支出	282,966	220,989	260,186	268,702	278,711	284,687	291,917	317,369	325,147	361,166
食 料	66,904	57,292	62,427	65,256	66,534	66,542	68,282	71,883	73,155	76,191
住 居	18,874	21,065	20,591	18,639	19,637	15,721	15,771	18,631	22,042	19,543
光熱・水道	21,954	20,709	21,484	21,768	21,662	22,488	22,639	22,967	22,703	23,015
家具・家事用品	10,070	7,238	8,849	10,199	9,997	10,318	10,710	11,103	11,564	12,878
被服及び履物	11,382	7,742	10,121	10,770	10,780	11,046	12,012	12,394	12,688	16,113
保健医療	12,691	8,410	10,045	10,276	11,707	12,219	13,455	13,543	15,885	19,733
交通・通信	36,509	31,623	37,771	37,225	36,009	38,746	37,640	40,692	39,835	42,618
教 育	11,630	9,177	13,152	13,648	12,626	11,777	12,551	15,542	13,089	9,358
教養娯楽	29,063	18,322	24,348	26,267	27,164	28,363	29,182	33,686	34,998	44,065
その他の消費支出	63,889	39,409	51,398	54,654	62,595	67,469	69,675	76,928	79,187	97,653
						構 成 比 (%)				
消費支出	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	23.6	25.9	24.0	24.3	23.9	23.4	23.4	22.6	22.5	21.1
住 居	6.7	9.5	7.9	6.9	7.0	5.5	5.4	5.9	6.8	5.4
光熱・水道	7.8	9.4	8.3	8.1	7.8	7.9	7.8	7.2	7.0	6.4
家具・家事用品	3.6	3.3	3.4	3.8	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6
被服及び履物	4.0	3.5	3.9	4.0	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.5
保健医療	4.5	3.8	3.9	3.8	4.2	4.3	4.6	4.3	4.9	5.5
交通・通信	12.9	14.3	14.5	13.9	12.9	13.6	12.9	12.8	12.3	11.8
教 育	4.1	4.2	5.1	5.1	4.5	4.1	4.3	4.9	4.0	2.6
教養娯楽	10.3	8.3	9.4	9.8	9.7	10.0	10.0	10.6	10.8	12.2
その他の消費支出	22.6	17.8	19.8	20.3	22.5	23.7	23.9	24.2	24.4	27.0

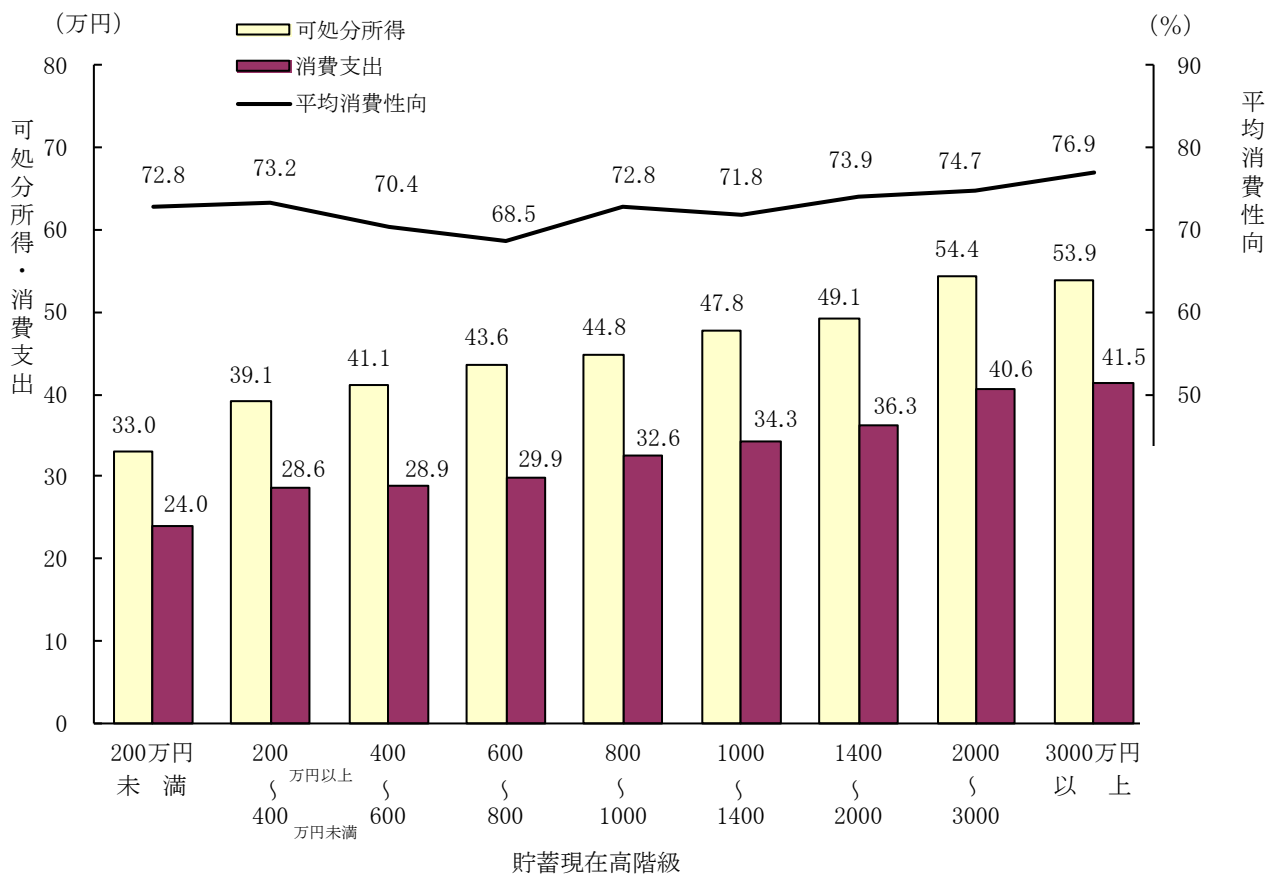
2 勤労者世帯の状況

(1) 平均消費性向は貯蓄現在高が3000万円以上の世帯で最も高い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について貯蓄現在高階級別に1世帯当たり1か月間の収支をみると、消費支出及び可処分所得は貯蓄現在高が多くなるに従っておおむね多くなっている。

平均消費性向（可処分所得に対する消費支出の割合）は貯蓄現在高が最も多い3000万円以上の世帯で最も高くなっている（図18）。

図18 貯蓄現在高階級別可処分所得及び消費支出（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）－平成23年－



注1) 可処分所得とは、実収入から税金、社会保険料などの非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

注2) 勤労者世帯の平均消費性向（年平均）は73.4%

(2) 平均消費性向は負債現在高が多い世帯で低い傾向がうかがえる

勤労者世帯のうち負債保有世帯について負債現在高階級別に収支をみると、負債現在高が多い階級ほど可処分所得もおおむね多くなっている一方、可処分所得が多くなっても消費支出は必ずしも多くなっていない。平均消費性向をみると、負債現在高が多い階級ほど低くなっている。

また、住宅ローン返済額をみると、負債現在高が多い階級ほど多くなっている（図19）。

図19 負債現在高階級別可処分所得及び消費支出

（二人以上の世帯のうち負債保有勤労者世帯）－平成23年－

